

# 令和3年度東部地区学力向上推進協議会 (研修会)



令和3年6月2日(水) 春日部地方庁舎

令和3年6月2日(水)に、春日部地方庁舎大会議室において、第1回東部地区学力向上推進協議会(研修会)を開催しました。学力向上に係る研究委嘱校の校長及び研究推進者、各市町教育委員会学力向上推進担当者、東部教育事務所担当者等が参加しました。

研究委嘱を受けた各市町教育委員会、各学校が研究計画について発表した後、3つのグループに分かれて協議を行いました。また、県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事より、指導助言及び県からの情報提供を行いました。

## 1 目的

児童生徒の学力向上に資するため、各研究校及び関係各市町教育委員会の研究内容等について検討・情報交換を行うとともに、研究成果の普及を図る。

## 2 主な協議内容

学力向上に係る研究委嘱校を交え、次の視点で協議を行いました。

- ①研究校の研究推進に対する支援(研究に関連した効果的な取組事例等)
- ②研究校の質問事項に対する情報提供・意見交換

## 「『未来を生き抜く人財育成』学力保障スクラム事業」

### ◆Aグループ

#### ICTを取り入れた研修について

研修の中で活用できる場面について検討し、実践を集めることが必要である。

#### 児童生徒の学ぶ意欲を高める工夫について

課題設定や導入の工夫などにより、児童生徒に学ぶ必要感をもたせ、意欲を高めることが重要である。例えば国語科では、授業で扱う教材と同時に、自分の読みたい本も読み進めるなどが考えられる。



## ◆Bグループ

### 昼休みを使った児童・生徒への個別指導について

マンツーマンの指導により、個別最適化された支援を行うことができる。また、併せて、自己肯定感を高める声かけが重要になる。

### チーム・ティーチングによる指導

#### の充実について

特に国語の書く授業においては、T1とT2の役割を明確にし、個別支援の充実を図る必要がある。



## 「学力向上研究校指定事業」

## ◆Cグループ

### 研究組織の在り方について

研究を進める上で必要になる部会等は違う。大切なことは、各部会が情報や取組を共有し連携することである。

### コバトンのびのびシートの活用について

個々の学びの状況を適切に把握するため、「コバトンのびのびシート」を活用し、習熟度別授業の改善を目指す。



※各グループの内容については、発表資料・グループ協議・指導講評から記述しています。

## 指導講評及び県からの情報提供

### 「埼玉県学力・学習状況調査の活用」

#### 【講師】

県教育局市町村支援部 義務教育指導課  
学力向上推進・学力調査担当  
大河原 早菜江 指導主事

#### 【内容】

- 1 学力向上に係る研究委嘱校への指導・助言
- 2 埼玉県学力・学習状況調査の活用について

